



【問】テレビで知覚過敏という言葉を知りました。私もたまに冷たいものが歯に染みることがあります。歯科で診てもらったほうが良いのでしょうか。

【答】知覚過敏(象牙質知覚過敏症)は、むし歯でもないのに冷たいものや熱いものが歯に染みたり、歯ブラシの毛先が触れてズキンとしたりするなど、歯

に刺激を与えると痛みを感じる状態をいいます。知覚過敏は幾つかの要因が重なって起こります。歯磨きの磨き残しが多かったり、歯周病や過度のブラッシング圧によって歯肉が下がって歯根が露出したり、歯ぎしりやかみ合わせによって歯が削れたり、ひび割れ(マイクログラック)が入ったりすることなどで

シグナリングによって歯肉が下がります。高齢者だけでなく、20代、30代といった若い世代でも見られます。まずは正しい歯磨きをするのが大切です。知覚過敏が疑われたら、知覚過敏

めたりします。歯ぎしりや食いしばりが原因の場合はマウスピースの装着や、かみ合わせの調整を行うこともあります。歯周病がある場合はその治療も必要です。

いずれにしても原因を取り除かないと、一時的に症状が改善しても繰り返すのが知覚過敏の特徴です。歯が染みる原因がむし歯の可能性もあります。軽い痛みでも、初期のうちに原因を調べて、予防、治療することが歯をいつまでも健康に保つコツです。気になるたら、まずは歯科医院に相談してください。

知覚過敏

複合要因で象牙質露出

過度に歯のホワイトニングをした場合に起こることもあります。

このように歯の表面を覆うエナメル質がなくなり、中の象牙質が露出すると、知覚過敏を起こしやすくな

用の歯磨剤を試してみます。それで症状が改善しないときは歯科医院で治療が必要です。露出した象牙質に薬液を塗布したり、レーザーを照射したり、歯が削れているところに樹脂を埋



回答者 村上 隆文
長崎市菜山2丁目
むらかみ歯科医院院長

めたりします。歯ぎしりや食いしばりが原因の場合はマウスピースの装着や、かみ合わせの調整を行うこともあります。歯周病がある場合はその治療も必要です。

いずれにしても原因を取り除かないと、一時的に症状が改善しても繰り返すのが知覚過敏の特徴です。歯が染みる原因がむし歯の可能性もあります。軽い痛みでも、初期のうちに原因を調べて、予防、治療することが歯をいつまでも健康に保つコツです。気になるたら、まずは歯科医院に相談してください。

めたりします。歯ぎしりや食いしばりが原因の場合はマウスピースの装着や、かみ合わせの調整を行うこともあります。歯周病がある場合はその治療も必要です。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページ(<http://www.nda.or.jp/>)も参考にしてください。